

2018年6月24日～7月4日まで、バーレーン王国のマナーマで、第42回世界遺産委員会が開催されました。

## 世界遺産登録数

### 新規登録遺産数

### 分類別合計

文化遺産：13件

845件

自然遺産：3件

209件

複合遺産：3件

38件

総数

1,092件

## 危機遺産リスト登録数

リスト入り1件

危機遺産 総数

54件

リスト脱した1件

### ◆ 危機遺産リスト入りした遺産

- ① トゥルカナ湖国立公園群【ケニア共和国】

### ◆ 危機遺産リストを脱した遺産

- ① ベリーズ・バリア・リーフ自然保護区【ベリーズ】

※ 危機遺産の一覧表は、本資料のP6～8に掲載してあります。

## 遺産保有国数と登録数

### ◆ 新しく世界遺産保有国となった国

今回新たに世界遺産保有国となった国はなく、2018年8月現在、193の加盟国中、**167の国と地域**に世界遺産が存在します。

### ◆ 上位遺産保有国と保有遺産数

001. イタリア共和国【54件】

002. 中華人民共和国【53件】

003. スペイン【47件】

004. フランス共和国【44件】

004. ドイツ連邦共和国【44件】

日本の遺産数は22件で、12番目に世界遺産を多くもつ国である。

## 第43回開催地(予定)

2019年に開催される第43回世界遺産委員会はアゼルバイジャン共和国のバクーで開催予定。

## 文化遺産

遺産名	保有国名	登録基準
ティムリカ・オヒンガの考古遺跡	ケニア共和国	(iii) (iv) (v)
カルハットの古代都市	オマーン国	(ii) (iii)
アル・アハサ・オアシス:進化する文化的景観	サウジアラビア王国	(iii) (iv) (v)
ムンバイにあるヴィクトリア朝ゴシックとアール・デコの建造物群	インド	(ii) (iv)
ファールス地方にあるササン朝の考古学的景観	イラン・イスラム共和国	(ii) (iii) (v)
長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産	日本国	(iii)
山寺(サンサ):韓国の山岳僧院群	大韓民国	(iii)
アアシヴィスイトからニピサット:氷と海の間広がるイヌイットの狩猟場	デンマーク王国	(v)
ヘーゼビューとダーネヴィルケの国境の考古学的遺跡群	ドイツ連邦共和国	(iii) (iv)
イヴレーア:20世紀の産業都市	イタリア共和国	(iv)
メディナ・アサーラのカリフ都市	スペイン	(iii) (iv)
ギョベクリ・テペ	トルコ共和国	(i) (iii) (iv)
ナウムブルクの大聖堂	ドイツ連邦共和国	(i) (ii)



ティムリカ・オヒンガの考古遺跡  
© National Museums of Kenya



メディナ・アサーラのカリフ都市  
© Madinat al-Zahra Archaeological Site

## 自然遺産

遺産名	保有国名	登録基準
バーバートン・マコンジュワ山脈群	南アフリカ共和国	(viii)
梵浄山	中華人民共和国	(x)
ピュイ山地とリマーニュ断層にある地殻変動地域	フランス共和国	(viii)

## 複合遺産

遺産名	保有国名	登録基準
ピマチオウィン・アキ	カナダ	(iii) (vi) (ix)
チリビケテ国立公園: ジャガー崇拜の地	コロンビア共和国	(iii) (ix) (x)
テワカンとクイカトランの渓谷: メソアメリカの起源となる環境	メキシコ合衆国	(iv) (x)

## 登録範囲拡大(自然遺産)

遺産名	保有国名	登録基準
ビキン川渓谷[『シホテ・アリニ山脈中央部』から拡大]	ロシア連邦共和国	(x)



ピュイ山地とリマーニュ断層にある地殻変動地域

© Pierre Soissons



チリビケテ国立公園: ジャガー崇拜の地

© Steve Winter



## 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産

Hidden Christian Sites in the Nagasaki Region

文化遺産

登録年

2018年

登録基準

(iii)

### ▶ 日本独自のキリスト教信仰の伝統を伝える

『長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産』は、2県8市に点在する10の「集落」とそれぞれ1つの「城跡」と「聖堂」という、12の構成資産からなる。これらの構成資産は、17世紀始めに江戸幕府がキリスト教を禁止してから、19世紀に明治政府がキリスト教を黙認する(禁教が解かれる)までの約250年間におよぶ、日本独自のキリスト教信仰の姿と伝統を伝えている。「潜伏キリシタン」とは、その禁教期に密かに信仰を続けた人々のこと。

12の構成資産は大きく4つの時代に分けられている。「1.始まり」は、1549年にフランシスコ・ザビエルが鹿児島に上陸し日本にキリスト教を伝えてから、1550年に平戸で布教を行い人々の間にキリスト教の教えが浸透していく一方、豊臣秀吉や徳川幕府によってキリスト教信仰が禁止され、キリシタン達が禁教の下でも密かに信仰を続けることを決意する時代である。構成資産①の「原城跡」がこの時代を証明している。「原城跡」は、天草四郎を総大将とする島原半島南部と天草地方のキリシタン達が幕府軍と戦った「島原・天草一揆」の主戦場である。この一揆が江戸幕府に大きな衝撃を与え、その後の海禁体制(いわゆる鎖国)が確立されるとともに、潜伏キリシタンの歴史が始まった。

「2.形成」は、潜伏キリシタン達が神道の信者や仏教徒などを装いながら、密かにキリスト教信仰を続ける方法を作り上げていった時代である。構成資産の②から⑥がこの時代を証明している。「平戸の聖地と集落(②③)」は、キリスト教伝来以前から続く山岳や島への自然崇拝にキリスト教の聖地を重ね合わせた場所、「天草の崎津集落④」は、漁業を生業とする漁村独特の方法で、アワビ貝の模様を聖母マリアに見立てて信仰した場所、「外海の大野集落⑥」は古くから地元にある神社の氏子を装いながら信仰を続けた場所などである。

「3.維持、拡大」は、潜伏キリシタンの信仰を続けるために、外海地域からより信仰を隠すことができる五島列島の島々に移住していった時代である。構成資産の⑦から⑪がこの時代を証明している。病人の療養地であった「頭ヶ島の集落⑨」や神道の聖地であった「野崎島の集落跡⑧」からは、病人の療養地のために人があまり訪れない閉ざされた場所であるとか、神道の聖地にいるのは神道の信者であると見なされるなど、潜伏キリシタン達にとって



大浦天主堂

信仰を隠しやすかった場所であると考えられる。また、五島への移住は藩の開拓移民政策と深く関係しており、共同体を維持したい潜伏キリシタン達と未開地に移民を進めたい五島藩と大村藩(外海のある地域)の共通の思惑から、移民のキリスト教信仰が黙認されていた側面もあった。

最後の「4.変容、終わり」は、約200年ぶりにキリスト教の信仰を公に告白し世界中を驚かせた「信徒発見」から教会堂が築かれて行く時代である。この時代を証明するのが、この世界遺産のシンボルともいえる国宝の「大浦天主堂⑫」。1865年に浦上地区の潜伏キリシタン達が「大浦天主堂を訪れ信仰を告白した「信徒発見」は、奇跡としてローマ教皇にも伝えられた。その後、潜伏キリシタン達は、カトリックに復帰する者や仏教や神道を信仰する者、禁教期の信仰を続ける者(かくれキリシタン)などへと分かれていった。

### ▶ 日本初、イコモスとのアドバイザー契約

『長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産』は、日本の遺産としては初めて、諮問機関であるイコモスとアドバイザー契約を結び推薦書の作成を行った。これは、世界遺産委員会での審議に先立つ推薦の手順などを見直す試みの一環で、推薦書作成時にイコモスからアドバイスをもらい、推薦書の不備や価値証明が不十分であるなどの問題をなくすことを目指している。潜伏キリシタン関連遺産は、はじめ2016年の世界遺産登録を目指していたが、イコモスからの中間報告で「今のままでは世界遺産登録は難しい」という指摘を受けたため、2016年2月に一度推薦書を取り下げイコモスとアドバイザー契約を結んだ。これは、最短での世界遺産登録を目指し、翌2017年2月までの1年間で推薦書の作り直しと再提出を目指していたため、できるだけ少ない手直しで推薦書の内容を登録にふさわしいものに変える必要があったことが背景にある。イコモスのアドバイスにより、「教会」を中心とした構成資産から、潜伏キリシタン達が生活をした「集落」へと変更され、遺産名も「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」から『長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産』へと変更された。

	資産名	所在地
①	原城跡	長崎県南島原市
②	平戸の聖地と集落(春日集落と安満岳)	長崎県平戸市
③	平戸の聖地と集落(中江ノ島)	長崎県平戸市
④	天草の崎津集落	熊本県天草市
⑤	外海の出津集落	長崎県長崎市
⑥	外海の大野集落	長崎県長崎市
⑦	黒島の集落	長崎県佐世保市
⑧	野崎島の集落跡	長崎県小値賀町
⑨	頭ヶ島の集落	長崎県新上五島町
⑩	久賀島の集落	長崎県五島市
⑪	奈留島の江上集落(江上天主堂とその周辺)	長崎県五島市
⑫	大浦天主堂	長崎県長崎市

## 危機遺産

遺産名	保有国名	登録年
エルサレムの旧市街とその城壁群	エルサレム(ヨルダン・ハシェミット王国による申請遺産)	1982
チャンチャンの考古地区	ペルー共和国	1986
ニンバ山厳正自然保護区	ギニア共和国及びコートジボワール共和国	1992
アイールとテネレの自然保護区群	ニジェール共和国	1992
ヴィルンガ国立公園	コンゴ民主共和国	1994
ガランバ国立公園	コンゴ民主共和国	1984~92, 1996
オカピ野生動物保護区	コンゴ民主共和国	1997
カフジ・ビエガ国立公園	コンゴ民主共和国	1997
マノヴォー-グンダ・サン・フローリス国立公園	中央アフリカ共和国	1997
サロンガ国立公園	コンゴ民主共和国	1999
ザビードの歴史地区	イエメン共和国	2000
聖都アブー・メナー	エジプト・アラブ共和国	2001
ジャームのミナレットと考古遺跡群	アフガニスタン・イスラム共和国	2002
バーミヤン渓谷の文化的景観と古代遺跡群	アフガニスタン・イスラム共和国	2003
アッシュル(カラット・シェルカット)	イラク共和国	2003
ハンバーストーンとサンタ・ラウラの硝石工場群	チリ共和国	2005
コロとその港	ベネズエラ・ボリバル共和国	2005
コソボの中世建造物群	セルビア共和国	2006
古代都市サーマッラー	イラク共和国	2007
ニョコロ・コバ国立公園	セネガル共和国	2007
カスビのブガンダ王国の王墓	ウガンダ共和国	2010
アツィナナナの熱帯雨林	マダガスカル共和国	2010

遺産名	保有国名	登録年
エヴァーグレース国立公園	アメリカ合衆国	1993～2007, 2010
スマトラの熱帯雨林遺産	インドネシア共和国	2011
リオ・プラタノ生物圏保存地域	ホンジュラス共和国	1996～2007, 2011
リヴァプール海商都市	英国(グレートブリテン及び北アイルランド連合王国)	2012
パナマのカリブ海側の要塞群:ポルトベロとサン・ロレンツォ	パナマ共和国	2012
アスキア墳墓	マリ共和国	2012
イエス生誕の地:ベツレヘムの聖誕教会と巡礼路	パレスチナ自治政府	2012
伝説の都市トンプクトゥ	マリ共和国	1990～2005, 2012
アレppoの旧市街	シリア・アラブ共和国	2013
クラック・デ・シュヴァリエとカラット・サラーフ・アッディーン	シリア・アラブ共和国	2013
古代都市パルミラ	シリア・アラブ共和国	2013
シリア北部の古代集落群	シリア・アラブ共和国	2013
隊商都市ボスラ	シリア・アラブ共和国	2013
ダマスカスの旧市街	シリア・アラブ共和国	2013
東レンネル	ソロモン諸島	2013
セルー動物保護区	タンザニア連合共和国	2014
ポトシの市街	ボリビア多民族国	2014
オリーブとワインの地ーバティールの丘:南エルサレムの文化的景観	パレスチナ自治政府	2014
サナアの旧市街	イエメン共和国	2015
城壁都市シバーム	イエメン共和国	2015
円形都市ハトラ	イラク共和国	2015
シャフリサブズの歴史地区	ウズベキスタン共和国	2016
ジェンネの旧市街	マリ共和国	2016
ガダーミスの旧市街	リビア	2016

遺産名	保有国名	登録年
キレーネの考古遺跡	リビア	2016
サブラータの考古遺跡	リビア	2016
タドラールト・アカークスの岩絵遺跡群	リビア	2016
レプティス・マグナの考古遺跡	リビア	2016
ナン・マトール:ミクロネシア東部の儀礼的中心地	ミクロネシア連邦共和国	2016
ウィーンの歴史地区	オーストリア共和国	2017
ヘブロン:アル・ハリール旧市街	パレスチナ自治政府	2017
トゥルカナ湖国立公園群	ケニア共和国	2018

